

伝統工芸品等のデザイン・商品化に関する研究

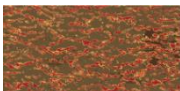
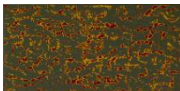
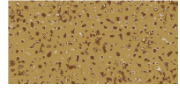
－現代生活空間における漆の配色に関する研究－ (第4報)

Study of traditional crafts for creating new products which adopted design awareness - Analysis of color scheme suitable for the modern living space (part4) -

鳴海 藍、小松 勇、小野 大輔

第3報では現代の住空間に適した漆器アイテムについて調査し資料を視覚化したのが、第4報では資料を元に試作した漆塗手板について報告する。視覚化資料から、各家屋スタイルに用いられていたメインカラー・アクセントカラーを抽出し、漆塗手板の試作を行った。メインカラーは、全ての家屋において空間になじみのあるもので、明度・彩度ともに近い配色で構成されている。アクセントカラーは、空間の中で目立つ配色が多く見られ、家屋スタイルによって傾向に偏りがある配色で構成されている。家屋スタイルや様々な好みの傾向に対応するため、事前に配色見本をデジタルデータで検討した上でプリント出力し、シミュレーションを行った。シミュレーションに使用した配色は3色とした。これは、津軽塗の色彩を大きく分類すると「仕掛け漆」「彩色」「上げ」の3種から成り立っていることによる。手板の試作に当たっては、そのシミュレーションと配色チップを用いて調色を行い、研ぎ出し変わり塗を用いて14種の配色で計28枚を制作した。

結果、シミュレーションと試作手板に濃度のギャップを見ることができた。特に彩度・明度が低い淡色系はギャップが大きく、これは漆そのものが茶透明であり、淡色系が影響を受けやすいためである。今後は、色彩色差計を用いてシミュレーション手板・制作手板間の色差計測を行い、色差を考慮したシミュレーション手板を再度製作する予定である。製品化を想定した受発注の際に使用できるよう、シミュレーションと現物のギャップをなくしたシミュレーションの見本資料を作成していきたい。

DIC カラー指標	シミュレーション	試作手板	DIC カラー指標	シミュレーション	試作手板
DIC-56 DIC-305 DIC-332			DIC-547 DIC-523 DIC-522		
DIC-281 DIC-333 DIC-337					
DIC-583 DIC-308 DIC-334			DIC-324 DIC-518 DIC-546 1/2		
DIC-434 DIC-44 DIC-423					
濃色系のシミュレーション群			淡色系のシミュレーション群		